



# 園長だより



大人も子供も、そして家族であっても考え方の違いはあるものです。誰もが同じ考えを持っているなどということはありません。ですから、意見の相違が夫婦の間、親子の間にあることに、何らおかしいことはありません。健全な家族関係を持つには、この意見の相違を争いに発展させないことが大切です。謙遜な心で相手の話を聞き、交渉の中で譲歩したり、お互いが納得できるように最善を尽くすことが大切です。今月は子供との争いを避ける方法を考えていきたいと思います。

1. **子供は押すと抵抗する。** バネは強く押せば押すほど抵抗が強くなり、押し返す力が増してきます。子供も同じかもしれません。強権的に強制すればするほど、子供の反発が増します。ですので、子供に何かを要求するときには、親は声のトーン、言い方、顔の表情に注意する必要があります。押して、押して押しまくっているのか、あるいは、やる気にさせ、諭し、交渉し、正しい方向に導いているのか。「〇〇やらなかったら、〇〇だよ」「今こっちに来なかったら、絵本読んであげないよ」と言うよりは、「〇〇したら、〇〇しようね」「おもちゃの片付けができたら、みんなでご飯を食べようね」などと言うほうが良いでしょう。また、子供ができそうにもないことをやらせるのではなく、やることを段階的に整理してあげたり、一緒に手伝ったりしましょう。

2. **ルーチン（日課、決まった手順）を作ってあげる。** 毎日朝やること、家に帰ってきてからやることなどを習慣づければ、子供の抵抗は減ります。「歯磨き」「保育園」「遊ぶ時間」「お片付け」「夕ご飯」「お風呂」「歯磨き」「寝る」などを表にし、できたらシールや、マグネットなどを貼っていく、というのも一つの手かもしれません。

3. **事前に警告する。** 寝る前の時間の悪い例です：ママは夢中に本を読んでいます。息子のゆうき君はブロックとミニカー遊びに夢中です。突然、時計を見て「ゆうき、寝る時間だから、今すぐおもちゃを片付けなさい」と一言。しかしゆうき君はママが本をまだ読んでいるのを見、遊び続けます。次の章まで読み終えたママは、「ゆうき！寝る時間だって言ったでしょ。早くおもちゃを片付けなさい！本気なんだからね」と言い、ゆうき君もママの声のトーンが少し変わったことに気がしますが、ママがソファから動かないのもう少し遊べると思い、片付けをせずに時間が過ぎていきます。最後に、ママが立ち上がり、鬼の形相で、「高橋ゆうきさん！あなたは何回言ったらわかるの！10を数えるうちにおもちゃを片付けなさい！！」と叫びます。カウントダウンが始まりますが、ゆうき君は片付け終わることなどできません。イライラし、ミニカーをママに投げつけます。ママは怒ってベッドまでゆうき君を引っ張っていき、「夜の絵本は読んでくれないの?!」という声を無視し、部屋の電気を消して、ゆうき君が泣きながら寝付くのを待ちます。ママはどうすればよかったのでしょうか。初めに時間に気が付いたときに、「あと20分で寝ないといけないから、5分したら片付けを始めるのよ」と警告をしたらよかったのかもしれません。そして、5分後には読んでいた本を置いて、もう一度「5分経ったから、片付けの時間だよ。一緒に手伝おうか？ブロックかミニカーのどちらから片付ける？」などと言い、どちらが早く片付けられるか競って、最後に「上手に片付けられたね」とほめてハグをしてあげ、そして、「早く着替えたら、絵本を読む時間もあるかもよ！」と言えばよかったのかもしれません。

2018年9月28日

石川三育保育園 園長 ミラー・ジョエル

自分も非常に参考になっているので Kay Kuzma さんの The First 7 Years (英文) という本を参考に園長だよりを書かせていただいています。本当はこの「争いを避けるためのガイドライン」には18項目あるのですが、今日は紙面の関係上、3項目しか紹介できませんでした。